

こころの疲れ、見過ごさないで

年間2万人の人が自ら命を絶つ日本。その中でも、うつ病が原因と考えられる人は5,000人を超えており、こころの健康は身体の健康と同じくらい大切です。

岡健康介護課 TEL 22-6839

働く皆さん、大丈夫？

働く人びとを取り巻く環境は大きく変化しています。このような変化に伴い、多くの人がストレスを感じています。さらに職場環境によってストレスを感じているのであれば、ますますこころが重くなります。

昨年度、市は市商工会に協力を依頼し、市内事業所で働く人の健康づくりを検討するために、事業所ごとにアンケート調査を行いました。

アンケートでは従業員数が50人以下の職場が約9割を占めており、そのうち、約1割の職場でこころの問題を抱えている人がいるということがわかりました。「こころの健康と生産性や事故発生の関係」も8割以上の事業所が「関係がある」と回答しています。

目を傾けることの大切さ

こころの不調がある人は、話を聞いてもらっただけで気持ちが楽になることもあるので、相談を受けた人は内容を整理してあげることも大切です。相談をされるとアドバイスをしたり励ましたりしたくなるかもしれませんが、励ますことが逆効果の場合もあるので注意が必要です。

また、相談を受けた人だけでは解決できないような内容の場合は、内容に応じた相談先に連絡するよう勧めてください。

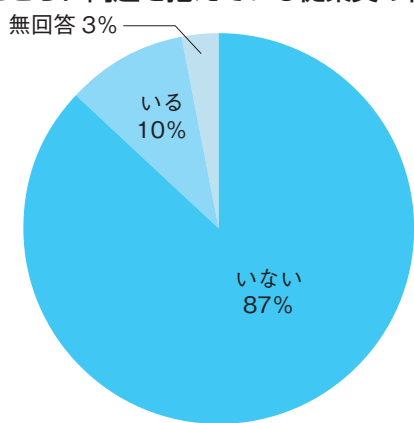
心の相談

精神保健専門医が個別で話を聞き、アドバイスします。本人以外に家族などからの相談も受けられます。相談は無料で秘密は堅く守りますので、心配のある人は健康介護課へ2日前までに予約してください。

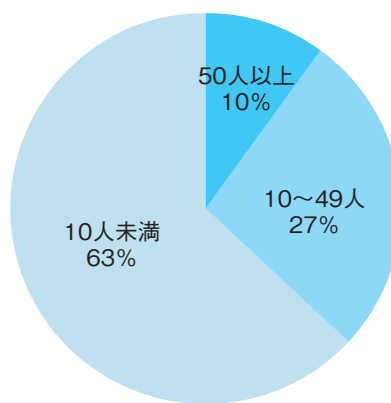
▼日時 10月27日(木)、12月22日(木)、2月23日(木)

アンケート調査結果

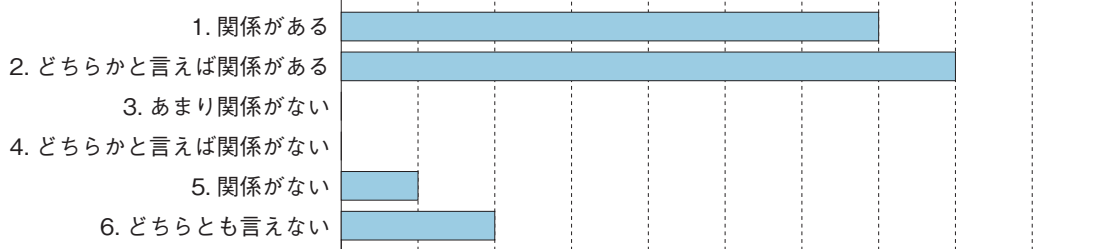
こころの問題を抱えている従業員の有無



回答した事業所の従業員数



こころの健康と生産性や事故発生との関係



家具等転倒防止器具購入などを助成

福祉課 TEL22-6837

市では高齢者世帯、障がい者世帯などを対象に、家具等転倒防止器具購入費などに関して助成を行っています。



対象世帯

市内在住で、次の①～⑦のいずれかに該当する人の世帯

- ①65歳以上の高齢者
- ②要支援・要介護者
- ③身体障がい者(手帳1～3級)
- ④知的障がい者(手帳A・B)
- ⑤精神障がい者(手帳1・2級)
- ⑥母子家庭および寡婦家庭(18歳以上65歳未満の人が同居する場合は除く。)
- ⑦難病患者など

▶申込方法

- ・申請書の記入方法については、山県市総合ボランティア・サポートセンターに相談してください。
- ・申請書は、市HPからもダウンロードできます。

▶協力機関

NPO法人

山県市総合ボランティア

・サポートセンター

TEL52-3110

- ・器具の取付相談
 - ・取付ボランティア
 - ・申請代行
- お気軽に相談してください。

家具等転倒防止器具購入費助成事業

■助成対象となる器具

転倒防止板、L字型金具、補強板、突っ張り棒、二段家具連結止金具、転倒防止ベルト、転倒防止チェーンなど

■助成の限度額

1世帯あたり**3,000円**(消費税含む)以内
※1回を限度

■条件

- ・借家、間借などの場合、器具を取り付けることについて、家屋所有者の承諾が得られていること。
- ・器具取り付け後は、取り外さないこと。

■設置について

山県市総合ボランティア・サポートセンターが**無料**で器具の設置を行います。

住宅用火災警報器設置推進事業 自動ブレーカー落とし装置の取り付け

■助成について

火災警報器、自動ブレーカー落とし装置の購入費に対する**助成はありません。**

■設置について

山県市総合ボランティア・サポートセンターが**無料**で器具の取り付けを行います。

悪質な訪問販売と詐欺行為にご注意を

悪質な訪問販売が発生しています。不審に思ったら、訪問員に**身分証(顔写真入り)の提示**を求めてください。また、器具の取り付けなどで心配なことがありましたら、福祉課、山県市総合ボランティア・サポートセンターに相談してください。